

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	駐車場管理運営委託事業					②事業番号	1501
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	昭和 46 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	○ 条例	規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称 泉南市立駐車場条例
⑦実施手法	直営	全部委託	○ 一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	2	項	1	目	12	細目 3
⑨担当部名	総合政策部			⑩担当課名	人権推進課		会計 一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 駐車場を必要としている市民	① 駐車場契約台数	台
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか) 駐車場は宮本、芝手、鳥淵を設置し、その管理はNPO法人に委託で実施している。 料金内容:普通車 3,500円/月 軽自動車 3,000円/月	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
	① 駐車場利用可能台数	台
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか) 路上駐車を解消し、もって交通の円滑化及び歩行者の安全確保を図る。	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
	① 稼働率	%
	計算式 利用台数/駐車場利用可能台数×100	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連) 安全な道路環境の向上につながる。	総合計画体系上の位置付け	
	政策(章)	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち
	施策大(節)	2 暮らしの不安や生活をおびやかす危険のないまちをめざします
	施策中	3 交通安全の推進
	施策小	2 交通安全施設の整備

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	駐車場契約台数	台	68	65	65	65	65	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	駐車場利用可能台数	台	80	80	81	81	81	
活動指標②								
活動指標③								—
成果指標①	稼働率	%	86	82	80	80	80	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.25	0.25	0.23	0.23		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員×単価)	千円	2,008	2,008	1,865	1,865		—
	直接事業費	千円	1,842	1,804	1,741	1,780		
	総事業費	千円	3,850	3,812	3,606	3,645		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	2,228	2,137	2,251	2,251		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,622	1,675	1,355	1,394		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	地域内の住宅密集度や狭隘な道路状況により、路上駐車が多くの歩行者の通行確保や緊急車両の通行に支障をきたしていた為。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	駐車場を設置したことにより、路上駐車が激減し多くの歩行者の通行の確保や緊急車両の通行がスムーズとなり地域の生活環境改善が図られた。今後も1世帯あたりの車両保有台数が増加傾向にあり、駐車需要が高くなると予想される。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	路上駐車を解消することで安全な道路環境につながる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	行政財産の使用許可を伴うため、市が関与する必要がある。また、地域の生活環境改善のために設置されたものである。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	1世帯あたりの車両保有台数が増加傾向であり、駐車需要が高くなる。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	利用者が近隣で代替地を見つけるのが困難。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	稼働率も高く、成果は上がっていると考え。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	駐車場利用については、継続・新規・解除に分類され稼働率については一部流動的である。設置目的である路上駐車の解消という観点から鑑みれば新規の駐車場利用者が直ぐに利用できる状況が必要である。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

B

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	現行も入札方式により委託者を決定している。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	民間駐車場の使用料との比較を検討していく。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	—	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)
	<今後の展開方針> - 重点化する(集中的なコスト投入) - 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) - 効率化する(コストを下げる) - 簡素化する(規模を縮小する) - 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—